

## ① 2020 年度の環境保全活動の実施状況・結果

関西エアポート神戸株式会社では環境負荷低減に向けて以下の4つの方針を設定しており、それぞれの方針のもとに取り組みの指標となる具体的な項目と目標、施策を定めています。2020年度の結果は以下のとおりとなっております。

	方針	項目・目標	実施状況・結果
1	気候変動への対応	エネルギー使用量 対前年度比1%削減	対前年度比約10%削減 ※1
2		CO2 排出量 対前年度比1%削減	対前年度比約15%削減 ※1
3	資源循環	上水使用量 対前年度比2%減	対前年度比約28%減 ※1
4		廃棄物リサイクル率向上	廃棄物量は減少したがリサイクル率が低減した
5	周辺環境との共生	適切な環境監視	航空機騒音監視の実施
6		生物多様性に配慮した環境創造	空港内の緑化維持
7	環境マネジメント	環境認証の取得	ACA Level 2 の維持
8		マネジメント体制の構築	KOBE エアポート環境推進協議会の開催

※1：新型コロナウイルス感染症の影響により、神戸空港を利用する旅客数に大幅な変動があったため、指標の見直しを行いました。対前年度比の数値目標を原単位あたりではなく、総量で比較しております。

※2：ACAはAirport Carbon Accreditationの略です。

気候変動への対応の取り組みとして、航空機の運航状況に応じて設備の運転時間を短縮、不要な照明消灯や機器停止の徹底をした。

資源循環の取り組みとして、再生水・雨水利用の継続、直営店舗のショッピングバックを従来のプラスチック製からエコ素材へ切り替えた。

周辺環境との共生の取り組みとして、航空機騒音の監視、ばい煙発生施設の適正管理、空港内の緑化維持を実施した。

環境マネジメントの取り組みとして、ACA (Airport Carbon Accreditation) Level 2 を維持し、空港関連事業者と連携するためにKOBEエアポート環境推進協議会を開催した。